



…「性能表示」素案まとまる…



以前(第37号)、住宅の品質確保促進法について簡単に説明しましたが、来年6月までに導入が予定されている住宅の性能表示制度「日本住宅性能表示基準」の素案が明らかになりましたので、今回、取り上げてみました。

性能表示項目は、

- ①構造——耐震等級(躯体の安全性及び修復性) {1~4}・耐風等級(躯体の安全性及び修復性) {1~2}・耐積載等級(躯体の安全性、修復性及び床の使用性) {1~4}・耐積雪等級(躯体の安全性及び修復性) {1~2}・躯体の変形量(中地震時)・地盤又は杭の許容支持力及びその設定方法・基礎の構造方法及び形式
- ②火災安全——避難安全等級(自住戸火災) {1~3}・感知器設置等級 {1~2}・火災拡大抑制等級(内装) {1~4}・避難安全等級(他住戸火災) {1~3}・感知通報装置設置等級 {1~2}・排煙機能継続時間・耐火時間(避難経路の隔壁)・脱出方法・耐火時間(延焼の恐れのある部分、界壁及び界床)・延焼抑制装置
- ③耐久——劣化対策等級 {1~3}
- ④維持管理安易——維持管理対策等級(専用配管及び共用配管) {1~3}
- ⑤温熱環境——省エネルギー等級 {1~4}
- ⑥空気環境——ホルムアルデヒド対策 {1~3}・全般換気等級 {1~2}・局所換気方法
- ⑦光・視環境——単純開口率(方位別)・採光有効開口率(一つの居室及び居室全体)
- ⑧音環境——遮音等級(界床・重量衝撃音) {1~5}・相当スラブ厚等級(界床・重量衝撃音) {1~5}・遮音等級(界床・軽量衝撃音) {1~5}・床仕上げ等級(界床・軽量衝撃音) {1~5}・遮音等級(界壁・空気伝搬音) {1~4}・透過損失等級(界壁・空気伝搬音) {1~4}・透過損失等級(外壁開口部・空気伝搬音) {1~5}・給排水騒音対策等級 {1~2}
- ⑨高齢者等配慮——高齢者等配慮等級(専用部分及び共用部分) {1~5}

の9項目が素案では盛り込まれています。({} 内は等級、数値の高い方がレベルも高い)

設計図書で評価された住宅の建設工事の検査に関して、定められた時期に施工状況報告書等の記録と共に実物の目視、計測等により記録の信頼性を確認することとなっています。

これらの性能評価を誰がしたか、又は表示をしない場合等で金融公庫の融資額に影響があると思われます。今後、この点についての情報を入手次第お知らせします。

[商品情報] 小割物の高騰もようやく納まりそうですが、しばらくは高値安定の品不足は続くと思われます。早めの手配方お願いします。

《定休日》11月は、3、7、13、14、20、21、23、28日になります。
12月は、5、11、12、19、26、29、30、31日になります。
ご協力宜しくお願いします。



(お問い合わせは、お客様サービス係の森園まで)